

## 平成27年度公開講座

	福山会場	三原会場		
	9月26日（土）	9月30日（水）		
豊穣の海～瀬戸内海のつくり育てる漁業と恵み～ 生命工学部 有瀧 真人 教授				
第1回	瀬戸内海は浅く閉鎖的な海域ですが、流入河川が多いうえに急峻な潮汐で海水が循環するため、栄養に富んだ「豊穣の海」を作り上げ、古来より地域の水産を支えてきました。本講座では、瀬戸内海で産まれた“つくり育てる漁業”を概説した後に、この海域における代表的な水産物としてマダイやカキ等を取り上げ、その水産学的な位置づけや調理法をお話しします。			
10月3日（土）				
古代ギリシア・アテナイの人々の日常生活 人間文化学部 山川 廣司 教授				
第2回	瀬戸内海は、日本のエーゲ海とも言われています。本講座のテーマである「ひと・まち・くらし」に関わって、日本からはるか遠隔の地ですが、今から2,500年ほど前にエーゲ海を縦横に行き来して繁栄した古代ギリシアの都市であるアテナイ(アテネ)を取り上げ、当時の町並みやアゴラ(広場)に集う人々の暮らし振りなどを画像で垣間見ながら、古代ギリシア人について考えたいと思います。			
10月10日（土）				
備後の匠の技とスマートシステム研究で宇宙へ 工学部 関田 隆一 准教授				
第3回	福山市、広島県、さらには全国、全世界で「自然災害発生を予測して被害を未然に防ぐ」という、どうしても実現させたい夢があります。私たちは、それを宇宙からのこれまでにない観測で叶えてしまおうという研究を開始しています。全国の大学で、様々な宇宙活用の研究を地域協力を得ながら実行してきていますが、私たちは協力程度で済ませる小さな発想を越えて、大学研究に匠の技を持つ地元企業にガッツリと絡みついでもらいます。福山大学スマートシステム研究×オール備後ものづくりで、宇宙へ飛び立ち世界の夢を実現させる、その様なワクワクする計画を皆さんと共有できたら良いなという気持ちでお話しします。			
10月24日（土）				
脂質の代謝とその異常－動脈硬化性疾患の影－ 薬学部 森田 哲生 教授				
第4回	最新の厚生労働白書によると、死因の最多は悪性新生物、いわゆる癌ですが、動脈硬化症が基礎疾患としてある心疾患と脳血管疾患による死因を併せると、癌による死因と極めて近い数字になります。しかも、これら動脈硬化性疾患による死者数は着実に年々増加しています。ところで、この動脈硬化症の発症の大きな原因は、脂質の代謝異常 있습니다。本講座では、この発症原因に大きく関与する血液中のリボタンパク質、例えばその代表的なLDLあるいはHDLは“善玉”及び“悪玉”と呼ばれていますが、これらの本来の役割やその異常について、私どもの研究室での検討の結果も含めてお話しし、動脈硬化性疾患の発症阻止に一役を果たせればと思います。			
10月31日（土）				
備後地域経済のダイナミズム 経済学部 張 楠 准教授				
第5回	広島県東部に位置する備後地域には、「ものづくり産業」の地域として繊維・木工・家具など特色ある地場産業のみならず、一般機械や輸送機械などの多様な産業も集積しています。それにもかかわらず、備後圏域の中心都市としての福山が「日本鋼管の城下町」とも称されてきていることに代表されるように、備後地域も例外なく既存の東京を頂点とする「求心的構造」や「一極集中構造」論のなかで従属的位置づけしか与えられてきていません。本講座では、「既存の地域構造の相対化なくして地域再生なし」という観点に立脚して、「日本鋼管の城下町」に見え隠れした備後地域経済構造の独自性や多様性、さらに頑健性の歴史的形成プロセスとダイナミズムの一端を示したいと思います。			
日時 ・ 会場	9月26日（土）～10月31日（土）14:00～15:30 福山大学1号館01101大講義室  福山大学までスクールバスを利用される方 【松永発】 12:35 13:05 13:35  8月17日(月)～9月16日(水)	9月30日（水）～10月28日（水）18:30～20:00 三原市中央公民館中講堂 (三原市円一町2丁目3-1)		
受講料	無料 250名	150名		
修了証	4講座以上の受講者には修了証を授与。			
問合せ先	福山大学総務部企画・文書課 〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵 TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213	福山大学総務部企画・文書課 〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵 TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213  三原市教育委員会生涯学習課 (三原市中央公民館) TEL(0848)64-2137		
申込先	福山大学総務部企画・文書課			
申込方法	受講申込ハガキに所要事項を記入の上、福山大学総務部企画・文書課まで郵送（往信・返信それぞれに52円切手を貼付）又は持参			